



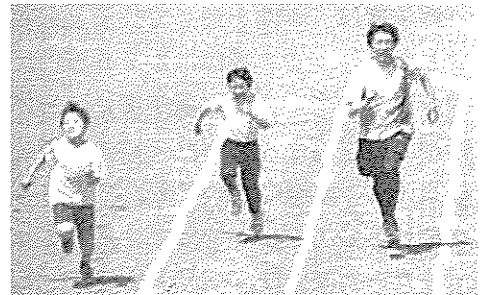
子どもたちがつくる学び

【子どもの日記より】

今日の4時間目に体育の授業がありました。久しぶりに組体操をしましたが、意外と体が覚えていて、結構よくできたかなと自分では思いました。今年は、昨年とは違って、私たちが4年生や5年生に教えなければいけない立場にあるので、たくさん練習して、うまくできるようにしたいです。あと3週間しか練習できないけど、最後まであきらめないでがんばってやりたいです。

心と体を広げ、腕を振り上げ、駆け抜け、指先と視線を一点に向け…と、運動発表会に向けて練習を重ねている子どもたち。それぞれの学年や学級のかげ声が校庭じゅうに響き渡り、弾けんばかりの笑顔やエネルギーが満ちあふれています。

今年度、本校（職員）の研究テーマは、「探究的につながる子ども」です。子どもたち一人一人には、その子ならではの学びのアプローチがあります。子どもたちの思いや願いに裏付けられた学びが、どのように深まっていったのか。子どもたちは、なぜそのような学びをしたのか。その子その子の学びの道筋に目を向け、子どもが発する言葉や動作、表情やつぶやきの一つ一つをつぶさに捉えて、その意味や背景に寄り添っていきたいと思っています。そして、子どもがつくり出す学びの道筋を丁寧に読み解いていくことは、「子ども理解」につながると共に、子どもがつくる『探究的な学び』を実現するための手がかりとなるのではないかと考えています。

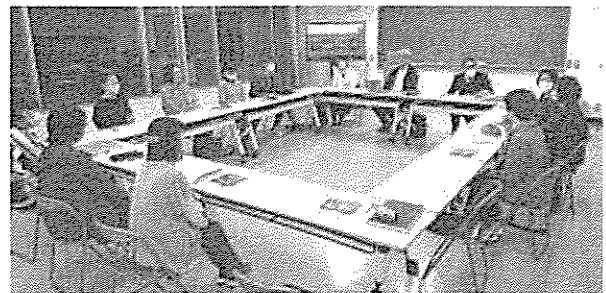


＜子どもと共に全力で走る教師＞

旭町小学校100周年を終えて

昨年度、旭町小学校は創立100周年を迎えました。3年前より有志が集い、100周年記念事業実行委員会（総務事務局部会、記念式典部会、児童企画部会、周年史作成部会、施設設備部会）を立ち上げて、様々な準備をしてきました。具体的には、記念式典の開催、記念誌の編纂（記念ホームページ開設）、校地内環境の整備事業（中庭の池の改修）、児童による記念事業（全校児童による記念撮影及び記念品製作、10年後の自分への手紙）に取り組みました。

その中で、子どもたちは、100年間の歴史をふり返るとともに、先人の皆さんの営みにふれ、100年の節目を自分たちなりに受け止め、自分たちらしく彩り、表現することができました。

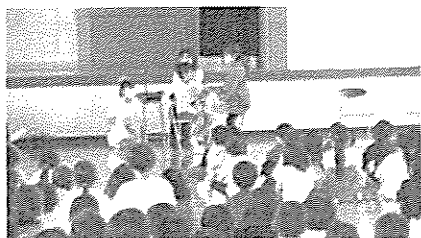


＜実行委員会（最終回）の様子＞

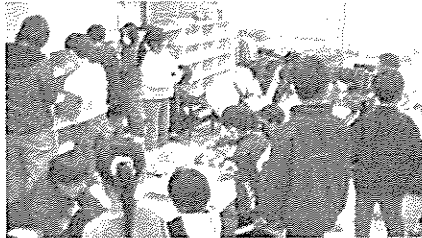
先日、100周年記念事業実行委員会の反省会が行われました。会の中では、実行委員の皆さんから、記念事業に携わってきたこれまでの足跡をふり返って、感動と感謝の言葉が語られました。長きにわたって数々の課題を乗り越えながら、100周年記念事業を牽引してくださった実行委員長の小山修さん（平成29年度PTA会長）、副委員長の今井百合子さん（平成30年度PTA副会長）をはじめ、実行委員の皆さんには、改めて感謝申し上げたいと思います。これまで本当にありがとうございました。

創立101年目となる今年、かけがえのない1年になるよう、学校と地域一丸となって取り組んでまいりたいと思います。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

子どもたちの様子 ～5月の姿より～



<盲学校の友だちとの交流(紹介式)>



<待ちに待ったあさひカフェ>



<主体的・対話的な授業>

お知らせ

*一人一台端末の活用について

今年度の一人一台端末（タブレット）の使用にあたり、本校のICT担当職員と松本市から派遣されているICT支援員が、年度末に多くの時間をかけて、全ての端末の状態を確認するとともに、個人アカウントやパスワードの確認、個々の端末への紐付け作業、動作環境の確認、Google classroomの設定等、子どもたちが端末を効果的に活用するために必要な環境整備を行いました。

昨年度は、年間を通じて、子どもたちの不注意や不適切な扱い等により破損したタブレットが29台ありました。修理費の総額は175万円。そのほとんどが落下による液晶部分の破損でした。想定外の多額な修理費に驚いています。新年度になって、すべての子どもたちに一人一台端末が割り当てられ、すでに端末を活用した学習が進められていますが、端末（貸与物品）の扱い方について随時指導してまいりたいと考えています。ご家庭においても、お父さんがどのように端末を使用しているのか、時折その様子を見ていただき、必要に応じてご指導いただきますようお願い致します。

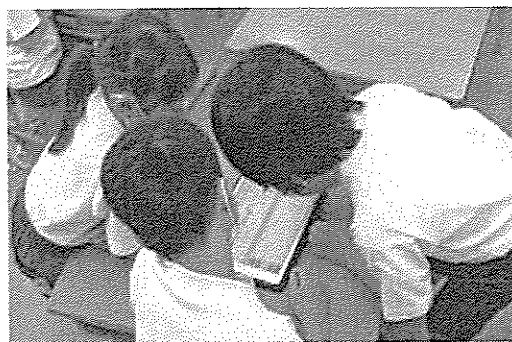
また、学校では、一人一台端末を使用する際の「最低限のルール」を確認し、効果的かつ発展的な端末の活用方法については、その都度、子どもたちが自分たちで考え合いながら、よりよい活用のあり方を構築していく「デジタル・シチズンシップ」を大事にしています。

例えば、4年生（昨年度）の学級では、音楽会に向けて練習を重ねていく中で、クラウド（Google classroom）を利用して、学級が一体となって個人練習に励む子どもたちの姿がみられました。

実際のGoogle classroom（右の画面）を見てみると、音楽リーダーのAさんがオンライン上の掲示板（ストリーム）を使って、クラスの仲間に最後の練習を呼びかけ、また、それに対して、子どもたちが呼応している様子が伺えます。

このように、子どもたちが自分たちの問いを解決したり、願いを実現したりするための手だてとして、自ら考え、判断しながら、端末を有効活用していく「デジタル・シチズンシップ」に基づいた活用方法を模索していきたいと思っています。

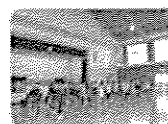
今年度も、学年の実態に応じて、一人一台端末の活用を進めてまいりますので、保護者の皆様には、ご理解ご協力の程よろしくようお願い致します。



<タブレットを囲んで対話する子ども>



音楽リーダーからの連絡です。
今日の動画を載せるので見てください。
後ステージ練習はラスト一回なので家で練習をめちゃやして来てください。
音楽会も近いので頑張りましょう！🎵



WIN_20221107_15_19_15_P...
動画



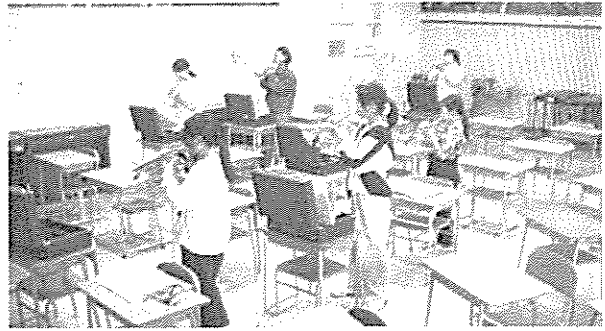
リーダーも毎日投稿ありがとう
みんなすごくうまくなっている本番頑張ろっど！

<昨年度の4年生のGoogle classroomより>

* 課外活動(フラスバンド部)の活動方針について

新型コロナ感染拡大防止のため、これまで様々な活動が制限され、十分な練習時間が確保できなかったフラスバンド部ですが、今年度は、感染症法上の位置づけが変更になったことを受けて、幅広く積極的な活動ができそうです。引き続き、手洗いやうがい、換気等の感染対策に十分配慮しながら活動を続けてまいりたいと考えています。

課外活動の運営方針については、家庭や地域に公表することになっていますので、本校のフラスバンド部の運営方針について概要を紹介します。



<朝練習に励む子どもたち>

- 【目標】 ・毎日の練習を通して、技能や表現力を高めたり、目標に向かってみんなで作り上げる楽しさを感じたりする中で、感性を豊かにします。
- ・音楽の好きな異学年の仲間と活動することを通して、みんなと協力していくことの大切さや仲間を思いやる心を育みます。
- 【方針】 ・活動時間……………平日7：45～8：10 休日練習8：30～11：30
※放課後は一切練習をしないため、朝の活動をしています。
- ・休日練習……………土・日のどちらか1日のみとします。
- ・休養日の設定……日曜日に大会や演奏会があった場合は、月曜日の朝練習はなしにします。
- ・大会等への参加…夏に行われるバンドフェスティバル(コンクール)に、日ごろから練習している発表の場として参加します。また、地区や、市から依頼があったものに関しては、子どもたちの負担にならない程度に参加を検討します。

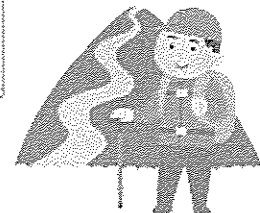
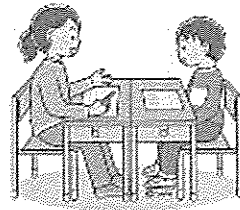
* 今年度の学校評価について

今年度も12月に学校評価を実施する予定です。学校評価は、本校のグランドデザインをもとに、保護者の皆様に評価していただくものです。評価の結果やご意見等は、学校応援団「笑顔の会」運営委員会の皆様に公表し、学校教育法42条に基づき「学校関係者評価」をしていただきます。保護者の皆様には、グランドデザインをじっくりとご覧いただきながら、各項目について評価していただきますようお願い致します。

なお、裏面に今年度のグランドデザインを掲載しましたので御参照ください。(グランドデザインは、学校要覧にも掲載してあります。)

* 今後の予定(7月の主な行事予定)

- 3日(月)～6日(木) 子どもとの面談
- 6日(木)～7日(金) 5年美ヶ原登山・宿泊学習
- 10日(月) 口座振替日 5年計画休業
- 12日(水) 町別子ども会 PTA執行部会
- 13日(木) とことん講座 学期末清掃～20日
- 14日(金) 5年メディアリテラシー 児童会 定時退勤日
- 20日(木) とことん講座 21日(金) 1学期終業式
- 22日(土) 夏休み～8/24(木) トイレ改修工事開始



7月下旬～2月下旬まで、トイレの洋式化に伴う大規模改修工事が始まる予定です。改修工事期間中は、校庭南側に仮設事務所が設置され、大型の重機やトラックが常駐します。児童や保護者の皆様、地域の皆様には、御迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



学校教育目標

「他者と共に、自ら学ぶ意欲をもち、心身健やかな児童の育成」

やさしく

かしこく

たくましく

育てたい子どもの姿

- 周りの人やものと進んでかかわり豊かな心を育む子ども
- 自分の考えや思いに自信を持ち自ら動きだす子ども

めざす学校像

誰もが学び合い、心通わせ共に生きる力をはぐくむ学校
「自己成長感」と「つながる意識」に満ちた学校

学校目標実現のためにみんなで目指す3つの力

「人を大切にする力」

- 聞き合い、学び合う「双発」をベースとした学習でお互いを知る子
 - ☆ペア、グループでの話し合い
 - ☆あいさつ・言葉劇
- 異学年の学びの中で自己肯定感を高める子
 - ☆縦割りの清掃、クラブ活動、児童会活動、交流行事等、異年齢集団による学び
- 多様な他者との関わりの中で他者理解、人権感覚を育む子
 - ☆盲学校との交流
 - ☆あさひカフェ

「よく聞き、考え、表現する力」

- 思いや願いを高め、自ら追究する子
 - ☆単元のめあて
 - ☆のびっこタイム
- 「ひと・もの・こと」と関わり、五感を働かせて学ぶ子
 - ☆生活科・総合的な学習
 - ☆地域学習
- 自分の思いを表現する子
 - ☆自分の考えを書く・話す
 - ☆学習のまとめ
 - ☆音楽(歌声)、図工

「挑戦する力」

- 自ら思い・課題を持ち、見通しを持って授業に臨む子
- 自分で課題を解決(探究)する子
 - ☆問い・追究・ふり返りの学習サイクル
 - ☆グループ対談、調査活動
 - ☆自主学習
- 粘り強く継続して活動に取り組みむ子
 - ☆あいさつマラソン
 - ☆清掃
 - ☆花いっぱい運動「花壇」

◎目指す子どもの姿
☆関係性の築き直し

子どもの挑戦に寄り添い、共に学び、挑戦と改革を志向する教師

つながり、学び合い、共感する

重点1 つながる授業づくり

【全校研究テーマ】「探究的につながる子ども」

- ①深く考え追究できる「課題」
- ②対話をベースとした「追究」
- ③自己肯定感と関係性を育てる「授業」
- ④豊かな人間性を育てる多様な「ひと・もの・こと」との社会
- ⑤多様な関わりによる他者理解・人権感覚の育み
- ⑥浸りこみ持ち続ける活動

重点2 つながる関係づくり

- ①子どもをまるごと受け止める教師
- ②どの子にとっても落ち着ける環境作り
- ③ともに学び合い専門性を高める授業研究
- ④チーム力、使命感の向上、挑戦と改革

すべてを支える特別支援教育的視点

チャレンジ&フォローの意識

連携と協働

地域交流・キャリア教育

- 松本盲学校
- 信州大学附属病院
院内学級
- 桐保育園・近隣幼稚園

- 旭町小PTA
- 民生児童委員
- 公民館(健康・安楽・福祉・本郷)
- お仕事ゼミ

旭町小・学校内連携

- 地域学習の奨励
- 行事・読書・安全ボランティア
- 学生による学習支援
- あさひカフェ 等

家庭

- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣
- 大人から進んであいさつ
- 家庭学習ゲーム等のルール作り
- 役割分担・対話で育てる自己有用感

保護者・地域の願い

◎明るいあいさつ・返事ができる子

◎自分の身を守ることができる子

◎地域とつながり生きていく子